

企業再編

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人 資産運用業協会

<https://www.fromhc.com>

2026.4.21

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



企業再編

企業再編とは企業の事業や経営体制の再編を行うこと。再編の経緯は様々だが、代表的な例として破綻（破綻しそうな状況、破綻しかかっている状況も含む）による再編、戦略的な事業ポートフォリオの整理再編、上場企業の非公開化などがある。再編下における企業は常態ではない場合が多く、そのような企業の生み出すキャッシュフロー、インカムの予測可能性は常態にある企業より低い場合がほとんど。また、近年では企業理念に応じたコア事業の特定、事業ポートフォリオの合理化によるノンコア事業の売却がみられる。

破綻

破綻は、民事再生や会社更生などの法的手続への移行のこと。多くの場合、株式価値は大きく毀損（ほぼゼロになることが多い）する。資産や事業の売却により弁済を行うほか、破綻後も経営陣を維持したまま必要な資金を融資するDIPファイナンスによる資金調達も行われる。

プライベートエクイティ

企業が事業再編を急ぐとき、「一時的な事業の保管管理」として、プライベートエクイティに売却することがある。即時に売却できる一方で、取引価格は事業の価値に対して割安となる。

事業ポートフォリオの再編

企業は環境に応じたパーパス（社会的存在意義）を掲げ、事業を展開する。この際に、経営上必要な資産、事業が特定され、アセットファイナンスを通じ買収資金を調達する。事業の選択と集中により、企業は効率的な経営が可能となる。

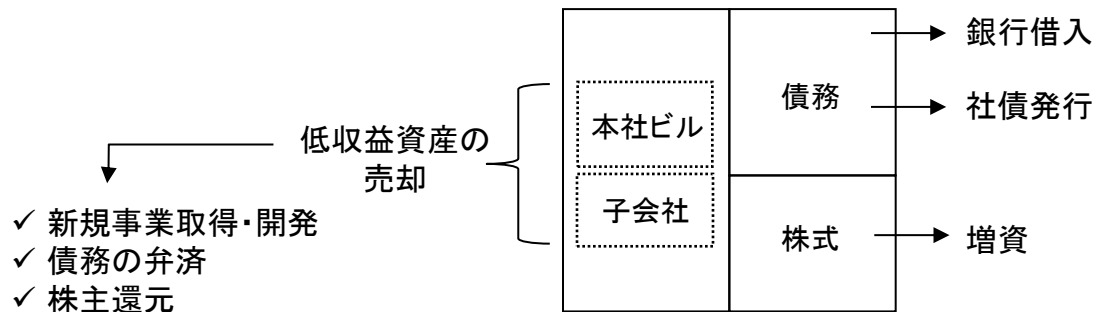
アセットファイナンス

企業が保有する資産を売却することにより資金を調達すること。近年コーポレートガバナンス改革が進み、アセットライト（資産を軽くすること、即ち資産保有を必要最小限にすること）を目指した企業再編の動きが加速している。アセットファイナンスで企業が売却した不動産はREITや不動産ファンドが取得するケースが多く、投資家にとっては新たな投資対象の創造という側面を持つ。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

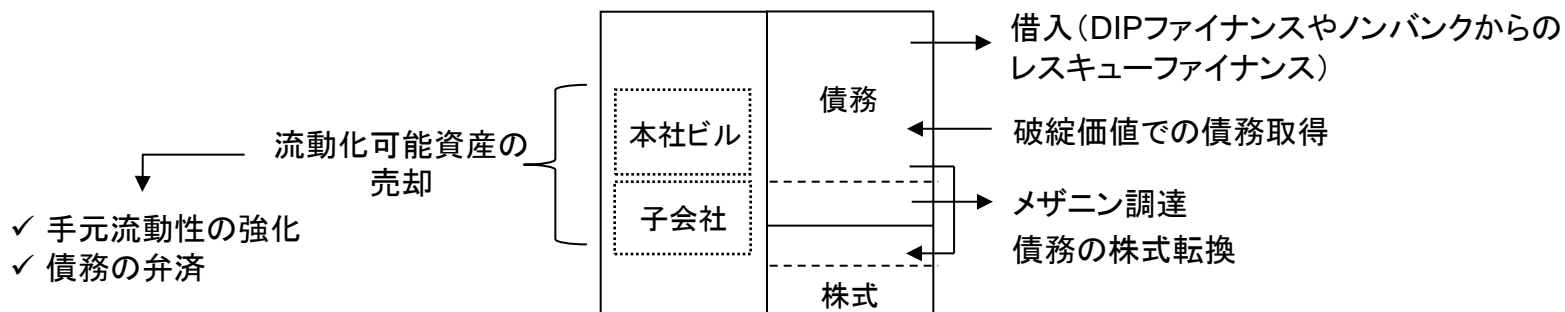
企業再編の種類と資金調達

<常態にある企業>



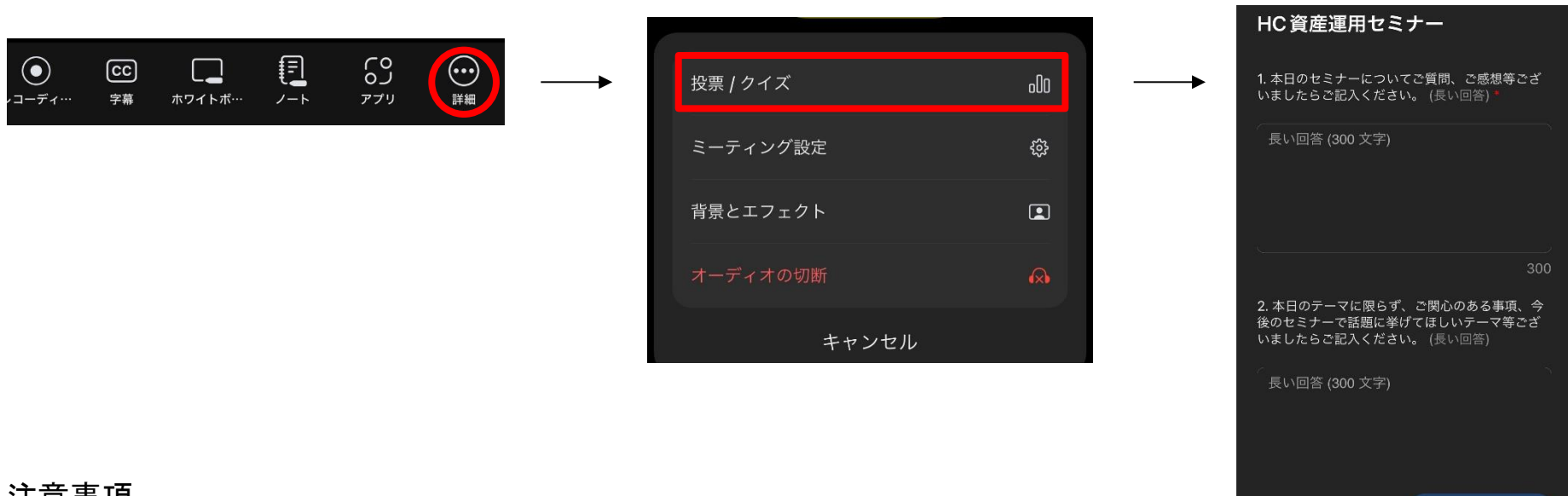
- 企業は社会的なパーパス(企業理念)を持ち、パーパス達成に必要な中核資産、事業を保有。
- 非中核事業、資産の売却により資産構成を改善。
- 事業、資産に応じ資本構成を最適化し、経営効率を改善。

<非常態にある企業>



講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。